第１７回「ハートミーティング」意見交換の内容について

メンバー　　お忙しい中，貴重なお時間をいただきましてありがとうございます。

市　　長　　御礼を言いたいことと，お願いしたいことがいっぱいあります。

メンバー　　では早速始めさせていただきます。私どもは，都市計画局の市街地景観課にある広告物違反指導担当のメンバーです。市街地景観課は，新景観政策に伴う平成１９年４月の機構改革により，風致保全課にあった違反広告物指導担当と旧都市景観課の業務の一部とが合併してできました。新景観政策に関する一連の条例改正に伴い「屋外広告物の現状に鑑み違反対策を強化すること」という決議がなされましたが，条例による制限を課しておきながら，違反対策が十分に機能していなければ市民合意は得られないという観点から，広告物違反指導担当は，特に強化されました。

活動の内容としては，大きく二つあります。一つ目は，違反指導と言われる部分です。これは，モデル地域，幹線沿道，主要交差点，チェーン店，風俗店などで京都の基準に合わない看板を設置している事業者に対し，違反指導を行っています。二つ目は電柱やガードレールに貼られている貼り紙や貼り札の除却で，市民共汗サポーター「京（みやこ）・輝き隊」のボランティアによる簡易除却の取組の推進と拡充を図っています。

それでは，まず，これまでの取組について，モデル地域の進ちょく状況を中心に説明させていただきます。モデル地域の内，平成 17，18 年度に広告物の掲出調査を行った河原町，木屋町，四条通界わいを第一次モデル地域と呼んでおります。また，平成 21 年度に調査を行いました祇園地区の四条通，川端通，縄手通，花見小路通，東大路通の各沿道といわゆる田の字地域の，御池，四条，五条，堀川，烏丸，河原町通の各沿道を第二次モデル地域と呼んでおります。

第一次モデル地域の調査対象の件数が事業所数で 1,622 件，その内なんらかの違反があったのが 1,337 件，違反率が 82.4％でした。それが平成 18 年度と平成 19 年度に違反指導に着手してから平成 22 年７月末現在までで，1,337 件中８７０件の是正が終わり，是正率は 65.1％となっています。この結果，もともと違反がなかった事業所を含めた適正率は 71.2％に

なります。どういう移り変わりがあったかは，後ほど詳しくパネルを見ながら説明させていただきます。

次に第二次モデル地域ですが，調査対象の総事業所数が 3,967 件あり，その内なんらかの違反のあった事業所は 2,511 件，違反率は 63.3%でした。昨年度末に調査が終わりましたが，広範囲ということもあり，今年度から 3 回に分けて着手していきます。祇園地区の 1,090 件を 6 月に着手し，田の字地区を 8 月，9 月に着手する予定です。

次にモデル地域以外の指導状況ですが，指導のきっかけはパトロールや通報です。通報があって違反指導に着手しても，同じ年度内に是正が終わるものではないため，年度ごとの件数表で着手件数と是正完了件数を単純比較ができないところです。違反の程度が著しくても 1 件，軽微でも 1 件となりますのでなかなか数字だけのイメージではわかりにくいと思いますので私たちの実績をパネルで説明させていただきたいと思います。

【順次パネルを見ながら説明】

市　　長　　はい，ありがとうございます。今説明いただいたような取組については，市民の方々や観光客など，いろんな方から，褒めてもらっています。いい意味で一番目立つ仕事ですね。

メンバー　（笑い）

市　　長　　新景観政策で，じわじわと新景観政策に合った住宅やビルやマンションが建ってきています。既に建っている高い建物は建て直すまでということになります。これは 30 年，50 年単位でやる仕事ですが大事なことです。看板などの部分は非常に目立つので，特に京都市以外から来た人が褒めてくれています。この改善例はホームページで公開してないのですか？

メンバー　　公開していません。

市　　長　　出したらダメなのかな？

メンバー　　是正したところは逆に出してほしい意向があると思いますが・・・。

市　　長　　よく河原町三条のところが見本になりますが，一定期間経過すると，それが当たり前になるので，これを市役所の玄関でパネル展をしたらどうですか？これだけ市民の理解も含めて，苦労して頑張ってくれているのだから。御理解，御協力ありがとうございましたという内容であれば，協力をいただ

いた会社のイメージアップにもつながるのではないでしょうか。

市の体制や法整備ができ，新景観政策の目玉として機能してくれて，うれしく思います。昨日，看板屋さんなどの組合の全国大会が京都であり来賓として出席したときに「全国で一番厳しい看板規制を行っている京都市長」と紹介されました。（笑）その時，こんな話をしました。

「どんなに芸術の志があって絵や彫刻が大好きな人でも１箇月に １，２ 回も美術館に行く人はめったにいません。美術館に行っても １ 時間か ２ 時間ぐらいです。毎日見る看板や景観が人間の美意識にどれだけ影響をあたえるか，ものすごく大きなギラギラした看板を毎日見続けると，何にも違和感を感じなくなってしまう。そういう意味では看板屋さんがやってられる仕事は，一流の芸術家が作った彫刻や絵画より社会的影響力が大きいとも言える。京都は街全体を文化・芸術の街として，京都を訪れる人が，京都に住んでいる人が，京都で育つ子供たちがもっと美的センスや芸術的センスを高めて感性を互いに磨き，京都に来たら何か落ち着く，何かいいものを感じる，そんな街にしたい。それに一番影響力を与えているのは皆さんです。看板がどれだけ人の生活に影響を与えるか。あなたがたは芸術家以上です。だから京都市は厳しく指導しているんです。」

すると，拍手喝采していただきました。また，私は，よくこういうことを言います。「みる」という言葉，漢字にはいろいろな「みる」があります。普通に「見る」，指し示して「視る」，言葉を介して「診る」，手を携えて「看る」，さらに見えないものを心で「観る」，そして人を魅了する「魅る」，京都はここで勝負しなければ。これが旅の本質です。こういう街にして行きましょう。そのためにはここから全部良くなっていかなければいけません。新しい規制をするだけでなく，規制の枠の中で，すばらしい広告物を創造していかなくてはならない。大きいことがいいことじゃない，原色を使うことがいいことじゃない，規制された中で最大限の想像力を発揮していい広告ができる。こんな風に共感の輪が広がっていったら，全国のモデルになります。大きい看板はお客さんを呼ぼうと思ってしているわけですから，広告物指導は，ある意味で，これを妨害することを公の為にやっていく大変な仕事です。

きれいになってくると次に目立ってくるのが，ガラスの内側から貼っている広告や風俗の「案内所」と，ラブホテルですね。次の大きなテーマです。

京都では看板が規制されていることがかなり定着してきましたね。是正していただいたものを京都市の広報に使ってよいか了解を得て，積極的に宣伝をしてはどうですか。それでもまだできていないところは強力な指導をして，無視する人には啓発していく，理解を求めていく，丁寧に細かく指導をしつつ，聞いていただけない人には法令に基づいて勧告命令等をしてはどうでしょうか。もともと日本人は遵法精神が高かったし，共同意識も高かったのですが，それが少し危うくなってきているように思います。税金を納めないとか，指導しても従わない，こんな国民性ではなかった。丁寧に意識改革を行い正直者が馬鹿をみないような，京都にしていくよう，もう一歩踏み込んでいく時期だと思いますね。

メンバー　メンバーの中でもこれからの指導行政について研究しているところです。指導して，我々は嫌われる立場ですが，将来的には良きアドバイザーになって行かなくてはならないと思っていますし，是正することによって経済効果が生まれたり，意識が高まるような指導をしていかなくてはならないと思っています。現在は，マイナスのスパイラルになっています。行政が嫌われ者になっている状態です。指導することによって，企業は儲からない，目立たない，客は来ない，広告業者も仕事がしにくくなり，いいデザインもできない。行政に対して悪く思う。景観を良くする取組に対して，マイナスのイメージが持たれています。これをプラスのスパイラルに変えていかなくてはならないと考えています。それには京都らしさを追求し，京都ブランドを構築し，みんなが儲かるような仕組みを作ることがプラスのスパイラルにつながる要素ではないかと考えます。

将来的には行政は良きアドバイザーになっていきたいと思っています。京都の人たちに，京都に住んで，京都で商売をしていくことに誇りを持っていただくとともに，京都で儲けていただくことで，京都の経済効果が上がり，税収入が増え，京都の活力が増していくようなかたちになればという夢を持っています。なかなか仕掛けとしては難しいのですが，都市景観だけでなく観光等もタイアップした中で意識付けをしっかりしていきたいと思います。法令を遵守したところにはなんらかの得を与える。たとえば京都市が全面的

にバックアップして宣伝しますよというような形ができれば，みんなこぞって条例を守っていただける仕組みになっていくのではないかと思います。まずは意識を改革していくことが大事だと思います。景観の指導という切り口からだけでなく様々な分野から市民に活力を与えられる仕事をしていきたいと考えています。

メンバー　嫌な話をもっていくのは，職員にとって厳しい部分もあります。結果としてみんながいい思いをする方へ導けるのであればモチベーションを上げて，いい仕事ができるのではないかと思います。

メンバー　行政もお手伝いしますが，市政に頼るだけでなく市民の方も儲けるための努力をしていただいて，逆に自分たちからも出資し，行政等を巻き込んでいくなど京都をより良くするため，市民の皆さんに自覚と責任を持っていただきたいと考えております。

市　　長　春に，造園組合の青年部 40 周年記念で，先斗町の市営公園を材料持ち込みで見事な和風の公園にしてくれました。築山があって，手水鉢があって。親組合の幹部の方々も来ていただいて。息子たちがやってるから家にあるものを，あれももっていけと言って，いい石やいい木が集まって，見事ないいものができました。（笑）その時に見に来た人たちから，「公園の前から南を見て先斗町は道もきれいだし公園もきれいになった。次はいっぱい出てる大きな看板を何とかしてほしい。」と言われました。そこまで規制する法律はないので，まずは自分たちでこのような看板は取り去ろうという気分を盛り上げて行政に要請してもらいたい。そして行政をゆり起して，そのうえで議会が条例を作る，または，そこまでしなくても自分たちで協定を作る方法もありますよ，と言いました。やっぱり地域の自主的な努力が基本となりますね。

広告は目立つのが競争ですから，規制したら規制の中でちゃんと競争していく。すばらしい芸術都市京都をよくデザインしてちゃんと考えて仕事をしていく。芸術家が皆さんです。違反の告発と，取締り役だけではなく，皆さんが京都の街をきれいにして行くのです。

メンバー　次に，「京（みやこ）・輝き隊」について説明させていただきます。「京（みやこ）・輝き隊」は，増え続けるピンクビラや違反広告物の除去などについて，市民の皆さん自らの手で京都の美しい景観を守っていくという観点で平成

17 年 11 月に設置しました。団体の構成は，当初 45 団体 531 名だったものが，平成 22 年 6 月末で 69 団体 749 名と伸びており，おむすびミーティングに参加された西大路周辺を美しくする会などが当初から参加されてます。平成 21 年度には，市内の全ロータリークラブ，嵐山保勝会などの参加により約 200 名増えており，この活動はかなり注目を浴びています。違反広告物を除去するという活動実績に加え，抑止という点でも大きな効果があります。

一方で，「京（みやこ）・輝き隊」をどうやって増やしていくかという課題がありますが，今考えているのは京都市内 37 大学や大学生への呼びかけです。活動員になれば得することや，輝き隊に入ることはかっこいいとか，かわいいとかをアピールできれば，今どきの大学生には受け入れやすいのではないかと思います。いかに京都を守るかは市民全体の責任であり，新景観政策の推進には市民の協力が不可欠と考えています。啓発を通じて違反を許さない風土づくりに貢献できればと，あくまでも行政がお手伝いをするその橋渡しに，共汗サポーターの輝き隊を活用できれば良いのではないかと考えます。

市　　長　　私も大学生がいいと思いますね。

メンバー　　数字上での登録者数は増えていますが，実際の活動状況に関しては，まだ課題があります。例えば，確かに除却活動をしていただくことによって京都市は条例で貼り紙等を禁止していることをボランティア自身や，剥がしているのを見た人に知っていただけるとか，また，昨日はなかった貼り紙が朝起きたら貼られているといった，地元ならではの早い情報提供をしていただけるなどのメリットはありますが，一方で，各ボランティア団体のモチベーションによって，活動状況に差があります。さらに，活動をされているところでも，看板を出すのも御近所さん，看板を取るのも御近所さんで，やっぱり取りにくいといった問題があるとの御意見もいただいています。

せっかく「京（みやこ）・輝き隊」といういい制度があるので，これを活かしていきたいなと思っております。地域をよく知っていただいている方，商店街の方やロータリークラブの方などがかなり活躍されています。今後も，そういう方々を手薄なエリアで増やしていき，交流会などや除却のデモ

ンストレーションを行うなどして盛り上げたいと思っています。

メンバー　市民さんの個々の活動や実践が啓発につながり，その啓発が気運の盛り上げになり，元々の京都市民の感性に戻していけるのではないかと思います。まず実践に御協力いただきたいなと思います。

市　　長　ピンクビラや違反広告物は，一時期よりは減っていますね。それはネットで配信されているという部分もありますが，イタチゴッコに皆さんの努力，市民ぐるみの努力で京都市が勝ったとも言えますね。減ったことは減りましたが，もう一歩踏み込んで自分たちの街を自分たちで美しくしていく，こういう組織との連携ができれば良いですね。自らが汗をかく中心的な活動には非常に良いのではないでしょうか。

市役所の職員にも働きかけて，出勤途中の道に危ない段差や急に出現した看板とかに気が付いたら，市民に率先して連絡しあうとか職員の感性が大切ですね。強制するものではありませんが，市民の約１％が職員ですので，効果はあると思います。

メンバー　違反広告物をこれからも解消していくためにも行政指導のみならず，市民との共汗が不可欠です。これからも市民と共に汗を流し違反広告物を許さない風土作りを進めていきたいと考えています。これからもパワーとスピードを持って広告物の是正に向けて頑張っていきたいと思っております。われわれ指導担当のものが現場でガンガンいきます。バックで支えてくれる人がいるからこそ前に出て行けます。これからもしっかりバックアップをお願いします。

市　　長　繰り返し言いますが，市民に期待され，価値の高い仕事なので，これからもよろしくお願いします。もっともっと京都の町を美しくしていきたい。そのためには１枚のビラが，１枚の違反広告がそれを台無しにしてしまう。新景観政策の執行段階の一番大事なところを，皆さんが体を張って頑張ってくれています。同時に「京（みやこ）・輝き隊」など，市民意識の向上と行動の輪が広がっています。皆さんが，仕事がし易くなるようにするのが私の務めだと思っていますし，その事がきっかけでもっと良くなって，市民の信頼を高めます。引き続き，御苦労かけますが，よろしくお願いします。ありがとう。

メンバー　ありがとうございました。